

みんなで作る歩きやすいまち

三ツ境駅周辺交通バリアフリー通信

創刊号
H17.9

三ツ境駅周辺を利用しやすく快適なまちに！！

三ツ境駅周辺は、区役所、警察署、学校など多くの公共公益施設が集まっているにもかかわらず、段差のある歩道橋や狭い道が多く、区民の皆さんからは「バリアフリー化」を望む声があがっています。

そこで、今年度、横浜市内の都心・副都心以外では初の試みとして、三ツ境駅の周辺において、横浜市交通バリアフリー基本構想の検討を進めることになりました。

検討にあたっては、学識経験者、高齢者、障害者や子育て関係者、鉄道・バスの関係事業者と行政による「横浜市交通バリアフリー専門委員会三ツ境地区部会」を立ち上げ、様々な立場から”だれもが利用しやすく快適なまち”となるよう考えていきます。



三ツ境駅周辺

交通バリアフリー基本構想とは？

交通バリアフリー基本構想とは、平成12年11月に施行された「交通バリアフリー法（正式名称：高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律）」に基づいたもので、鉄道等の旅客施設、周辺道路、駅前広場、信号機等のバリアフリー化を推進するため、重点整備地区の区域の設定、バリアフリー化を図る経路、実施すべき事業の内容を定めます。

なお、基本構想策定後は、各事業者が基本構想に基づき具体的な事業計画を作成し、平成22年を目標に、重点整備地区内の施設のバリアフリー化を実施することになります。

三ツ境地区部会開催報告

第1回地区部会



瀬谷区内の高齢者、障害者、子育て関係者や鉄道・バス事業者や行政関係者（26名）による、地区部会が立ち上がりました。事務局である道路局と瀬谷区から、交通バリアフリー法や現況の説明を行いました。

- 日時 平成17年6月1日（水）午後3時～5時
- 場所 瀬谷区役所 2階大会議室
- 内容 交通バリアフリー法と基本構想、三ツ境駅周辺地区の現況と関連計画、今後の検討の進め方など

第2回地区部会



90名近くの区民や事業者、行政が集まり、6グループに分かれ、三ツ境駅周辺のまちあるき点検を実施。午後は点検内容を整理し、発表を行いました。

- 日時 平成17年7月29日（金）午前9時30分～午後3時
- 場所 三ツ境駅周辺、三ツ境ライフコミュニティサロン
- 内容 まちあるき点検、点検結果の整理、発表など

第2回地区部会・まちあるき点検スケジュール

9:30～11:45

12:50～14:20

14:30～15:00

まちあるき点検（三ツ境駅周辺で6コースに分かれ点検）

点検結果の整理、まとめ（ワークショップ形式）

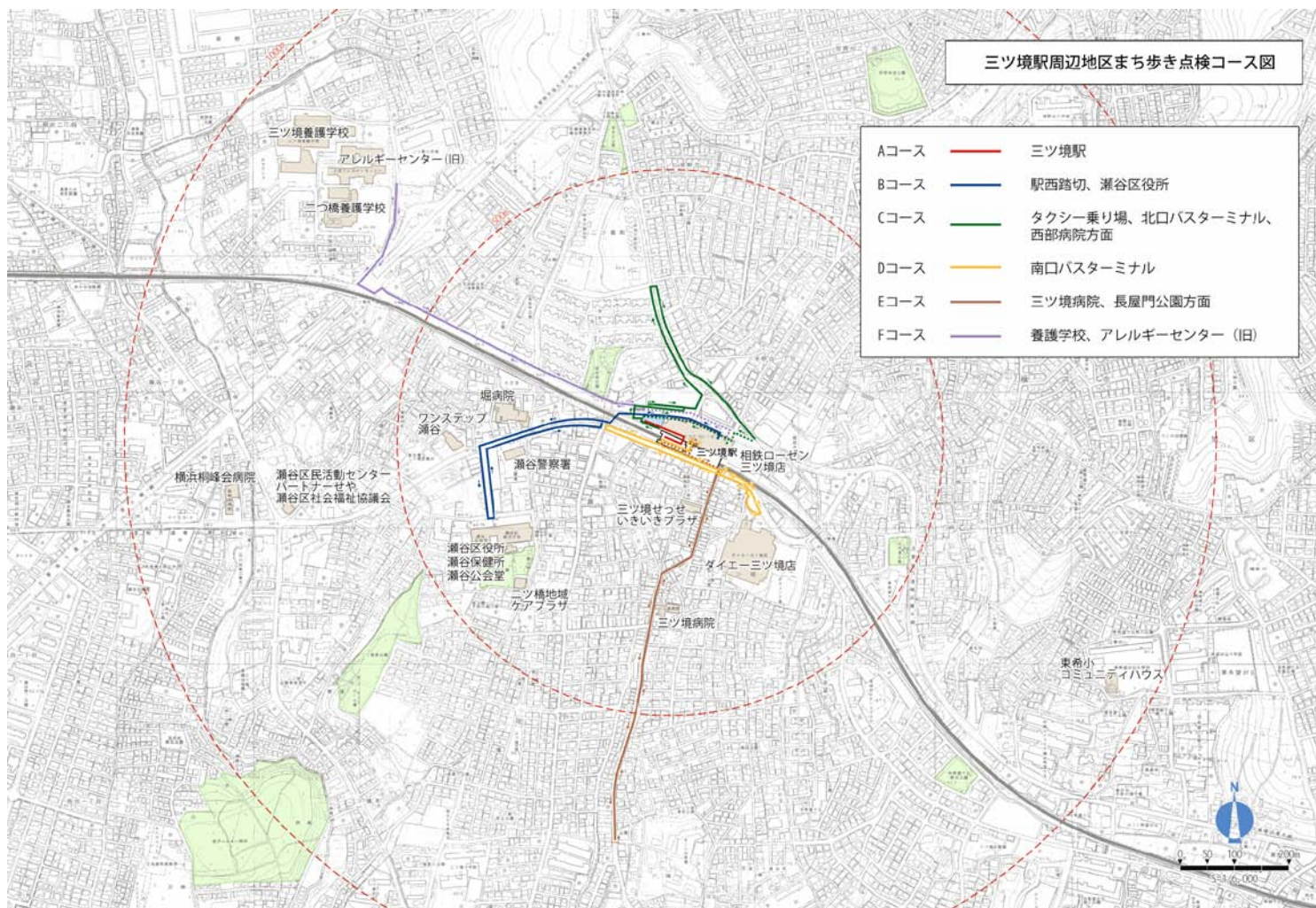
点検結果の発表（6グループ）

まちあるき点検参加者

障害者や高齢者、子育て中の親子、鉄道事業者や行政関係者の計89名が参加しました。

学識経験者	1名
障害者関係者	29名(うち視覚障害3名、聴覚障害2名、肢体障害7名、知的障害2名)
子育て関係者	5名(ベビーカー4台)
高齢者	5名
地元関係者	5名
鉄道・バス事業者	8名
行政関係者	25名
警察関係者	6名
コンサルタント	5名
計	89名

まちあるき点検ルート



まちあるき点検の様子



Aコース

駅の西側の歩道橋と三ツ境駅を点検。



Bコース

三ツ境駅から瀬谷区役所までの道路などを点検。



Cコース

三ツ境駅北側のタクシー広場とバスターミナルなどを点検。



Dコース

駅南側の厚木街道とバスターミナルなどを点検。



Eコース

三ツ境駅南口商店街を通り、「長屋門プロムナード」を点検。



Fコース

旧アレルギーセンターまでの道路を点検した後ノンステップバスに体験乗車。

ワークショップ・発表の様子

ワークショップ



まちあるき点検終了後、グループごとにまとめ作業。大きな地図の上にとってきた写真や良い点、改善点などをまとめた付せんを貼って、わかりやすくまとめます。

発表風景



まとめが終わったら、グループごとに成果発表。他のグループのまとめについても活発な意見が飛び交いました。点検結果については、次回ご報告します。

今後の予定

第3回～第5回

第2回で行ったまちあるき点検の結果をもとに、「交通バリアフリー基本構想素案」の作成を行います。

市民意見募集 の実施

素案に対する皆さまのご意見をうかがいます。

原案作成

市民の皆さまのご意見を反映させて原案を作ります。

事業開始

原案に基づき、道路管理者や鉄道・バス事業者等が事業を開始します。

横浜市内の他地区の状況

横浜市では、関内・鶴見地区にて交通バリアフリー基本構想の策定を昨年終えており、横浜・新横浜の2地区において、11月より基本構想素案のパブリックコメントを行う予定です。三ツ境駅周辺地区は、都心副都心以外では初の、また横浜市では5番目の地区となります。

他地区の基本構想について、詳しくは道路局のホームページ (<http://www.city.yokohama.jp/me/douro/plan/bf/>) をご覧ください。

平成16年8月	関内・鶴見地区にて交通バリアフリー基本構想の策定
平成17年8月	横浜・新横浜地区にて交通バリアフリー基本構想素案を作成
平成17年11月～	横浜・新横浜地区交通バリアフリー基本構想素案のパブリックコメント（市民意見募集）の予定

皆さまのご意見おきかせください！

三ツ境駅周辺交通バリアフリー基本構想について、何かご意見ご感想、ご質問がございましたら、事務局宛にご連絡ください。三ツ境駅周辺を快適で、歩きやすいまちとするため、皆さまのご意見を基本構想に反映させたいと考えています。FAX、Eメールにて、受け付けます。

<事務局>

瀬谷区役所区政推進課

電話：045-367-5631

FAX：045-365-1170

道路局企画課交通計画担当

電話：045-671-3800

FAX：045-651-6527

E-mail: do-barrierfree@city.yokohama.jp

ホームページ：[http://www.city.yokohama.jp](http://www.city.yokohama.jp/me/douro/plan/bf/mitsukyo.html)

[/me/douro/plan/bf/mitsukyo.html](http://www.city.yokohama.jp/me/douro/plan/bf/mitsukyo.html)